

KAMAKURA
BENIYA

株式会社 鎌倉紅谷

KURUMICCO FACTORY



見せる工場には「魅せる」白衣を

鎌倉銘菓として絶大な人気を誇る「クルミッ子」を製造する鎌倉紅谷。2019年横浜にKURUMICCO FACTORYをオープンされ、モンブランのリテイルハサップ対応ユニフォームをご採用いただきました。今回はHACCP（ハサップ）に対する取り組みや、ユニフォームに求める機能などについて、代表取締役 有井宏太郎さん、商品開発本部 本部長 河口幸宏さんにお話を伺いました。



店舗情報

KURUMICCO FACTORY
神奈川県横浜市中区新港2-14-1
横浜ハンマーヘッド2階
045-263-9635（受付11:00～19:00）
<https://www.beniya-ajisai.co.jp/kf/>

営業時間
終 日 11:00～20:00 / L.O. 19:00（The Cafe）
工場見学は19:00まで
定休日 横浜ハンマーヘッドに準ずる

鎌倉紅谷 本店
神奈川県鎌倉市雪ノ下1-12-4
0467-22-3492 <https://www.beniya-ajisai.co.jp>



ファクトリースタッフ



カフェスタッフ



HACCP義務化にかかわらず、衛生管理は大前提

横浜にオープンした「KURUMICCO FACTORY」は、製造工程がすべて見えるガラス張り。生地をこねて伸ばし、キャラメルを焼き、オープンで焼き上げる……いくつもの工程が、職人さんの手仕事で行われています。このファクトリーと、併設のカフェで採用いただいているのが、リテイルハサップ対応のユニフォーム。HACCPによる衛生管理は2020年6月に義務化されましたが、どのような準備をされていたのかを有井社長に伺いました。「私が社長に就任した約12年前、食品業界は偽装問題で揺れていました。そういったこともあって、HACCPに向けてというより、就任当初から

常に衛生管理のレベルアップに努めてきました。製造数が増えればそれだけ責任も大きくなりますから、衛生意識の向上とともに、前室を設けるなど設備面でも対応を整えてきました」。現場をよく知る河口さんも、衛生管理は食べ物扱う者として当然の責任、と言います。「HACCP義務化にかかわらず、多くの方にお召し上がりいただくものを作る上で、安心・安全は大前提だと思っています。ただ仕組みだけを導入しても、運用する側の意識が低ければ事故を防ぐことはできません。そのために研修も行いますし、現場でも常に声をかけることを心がけています」。



商品開発本部 本部長 河口幸宏さん

ずっと、愛され続けるお菓子であるために

ユニフォームを実際に着用された感想を伺うと、「生地がやわらかいので、動きやすいですね。以前勤めていたお店なら、シェフクラスが着るような生地ですよ」と、河口さん。手を動かす作業が多いため、生地の伸びやかさは重要なのだと言います。帽子とエプロンは、クルミッ子のカラーと合わせたブラウンに。この2点は、クルミッ子を作るワークショップに参加するお客様にも貸し出されています。クラフトマン（職人）と同じものを身に付けられるところが好評で、販売してほしいというリクエストも。「お客様に、着たい、欲しいって言ってもらえるのがありがたいですよ。もし工場と同じ

帽子や白衣だったら、こうはならなかったと思います」という有井社長の言葉どおり、見られることを意識して選んだユニフォームに、子供たちも憧れのまなざしを注ぎます。「ワークショップに参加した子供たちが、いつかクルミッ子を作るクラフトマンになってくれて、ファクトリーで再会できたらうれしいですね」と語る河口さん。クルミッ子がこれからも愛され続けるお菓子であるために、いっそう安全にはこだわりたいと語ります。「自分たちの意思で安心・安全に取り組みることが何より大切。人さまの口に入るものを作ることに、命を預かるぐらいの責任感で仕事をしています」。

クルミッ子しりの自家製キャラメルを、パターの生地で挟んだクルミッ子。今や鎌倉の方だけでなく、お取り寄せスイーツとして全国区の人気に。ファクトリー併設のカフェでは、クルミッ子を使ったパフェやケーキも提供。



機能性とデザイン性、どちらも重要

ファクトリーのユニフォーム選びには、衛生管理の機能に加え、デザイン性も重視されました。「ここは、“見せる”ファクトリー。小さいお子さまに手を振ったり、笑顔で応えたりするのもサービスのひとつです。子供たちが見て、かっこいいな、将来クルミッ子を作る人になりたいなって思ってもらえるものにしたいと思いました」と河口さん。当初は工場と同様に全身をカバーする食品工場の白衣を想定していた有井社長も、「このコンセプトである“見る・味わう・体験する”を表現できるものを選ぶべき」と考え、衛生面はもちろんのこと、見映えの良さも重視して検討を重ねられました。



代表取締役 有井宏太郎さん

昭和29年創業の鎌倉紅谷。クルミッ子は約35年前、洋菓子職人であった有井社長のお父さまが考案されました。地元で愛されていたこのお菓子を有井社長の代でリブランディングし、以前から個包装にプリントされていたリスを打ち出したパッケージに一新。おいしさはもとよりその可愛さも評判を呼び、今では鎌倉を代表するスイーツになっています。

リテイルハサップ
ユニフォーム
着用品番

9-1114 キャップたれ付き >> P.035
6-451 コックコート >> P.028
7-903 パンツ >> P.034